学校給食に おいしいごはんを 今月からはじまる

「学校給食に米飯をとり入れてはどうか」このような意見が所々方々で聞かれるようになったのは昭和四十一年頃からで、いわゆる米の需給が著しくそのバランスをくずし始めた頃からです。即ち米の生産量が消費量を大きく上まわり年々増加する余剰米が国の農業政策の上で大きく問題視されるに至り、米の需要拡大の必要性が強く称えられ、その一環として学校給食に米飯をとり入れる要求が次第に高まってきたわけです。

勿論、これまで学校給食に米を使用することを全く禁じられていたわけではなく、完全給食における米の使用については、農山村漁村において、地理的、経済的或は又季節的な理由により、完全給食に必要なパンを入手することの困難である学校は、米の利用が認められていました。

文部省でも、全く教育的立場から保健体育審議会を中心に、昭和四十五年から五ケ年計画で米飯給食実験校を指定し、米飯導入にまつわる諸問題に対し、真重に検討を加えてきたところですが、昭和五十年十二月学校給食分科審議会より「学校給食へ米飯を導入することは極めて有意義であり、これが積極的導入を認めるべきである。」という旨の答申がなされました。

文部省は、この答申を受けて昭和五十一年十二月に、学校給食法施行規則の一部を改正し、米飯を明確に位置づけ、同年四月から米飯実施にふみきったわけですが、米飯導入の趣旨として、

「米飯を導入することにより、食事内容をより豊かにし、又米飯の正しい食習慣を身につけさせるなど、極めて有意義であり、わが国の食糧資源を考慮した日本人の食生活を再認識して、これを積極的に推進すべきである」。

としています。

以上、米飯導入の経過を概略申し述べましたが、それはあくまでも従来の学校給食の内容を全面的に米飯にきりかえるというものではなく。従来のものに更に米飯をとり入れることにより、より一層食事内容を豊かにし、学校給食の本来の目標ねらいが、より効果的に達成されることを期すという専ら教育的見地に立っての措置です。

村でも、学校給食法の改正（米飯実施）以来、村民の米飯導入に対する要望も強いことから、米飯に対して前向きに種々検討を加えてきましたが、具体化については様々な問題が生じております。

例えば、村内の小中学校の給食施設は早い学校では昭和三十五年、遅い学校でも四十三年の施設であり、既に十年以上経過し、施設設備そのものの老朽化が目立つ上に施設が狭隘であることから、米飯施設を取り入れるためには、大々的に給食施設設備の改造が必要となってきます。又以上のような施設内容の状況を考慮に入れ、米飯導入を契機に総合的な給食センターを設置することは最も望ましい措置と考えられますが、これには更に莫大な経費を要すること等がその一つであります。

しかし、学校給食に米飯を導入した趣旨に沿うため又一方住民の強い要望に応えるためには、村の諸般の情勢を勘案し、出来得る限り措置を講じ、米飯導入を推進しなければならないという前提に立ち、前述の問題点について比較検討を加えた結果、各学校の給食施設を必要限度に改善し、米飯の導入をはかることの決定を見たわけで、各学校とも夏休み期間中を利用して整備改善につとめてきました。一応九月中旬以降には米飯実施の見通しになったことはよろこばしい限りであり関係機関をはじめ村民の方々のご協力を心から感謝申し上げます。

米飯は各校とも週二回を目途にしており、米飯導入に対する調理員の研修期間の必要から、その期間中は暫定的に週一回として推進します。

各学校に施設を整備しただけに、炊きたてのおいしいごはんが児童生徒をきっとよろこばし、給食がより楽しいものになるでしょう。

今後とも、学校給食に対し、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

▲ 米の消費拡大推進大会でも米飯給食導入の要望があった…

第三回婦人学級

- **期日**　九月二十五日　午前十時より
- **場所**　役場第二会議室
- **主題**　「家庭での情操教育について」
- **講師**　新発田保健所長

婦人学級の意義をご理解いただき、ご近所お友達ちお誘い合せて多数参加下さるようご案内申上げます。

米の消費拡大推進大会盛況に終る

村農協連絡協議会と村農政対策協議会の主催で、米の消費拡大推進大会が去る八月二日、午後より岩室農協を会場に、関係者一二〇名が参加し開催されました。

大会では、良質米の生産対策、米の消費拡大対策を主要テーマに掲げ、生産者側、消費者側、それぞれの立場から活発な意見交換があり、結局、村一丸となって次のことを推進することになりました。

▽学校給食の米飯確立
（九月から週二回実施、将来は週三回に）

▽消費者に喜ばれる良質米の生産出荷

▽毎月八の日を「米の日」として消費拡大をはかる

また、大会終了後、村の生産米三品種（コシヒカリ・アキヒカリ・トドロキワセ）の試食会を行い、うまい米（おにぎり）の順に投票した結果、正解率は八〇%強と、やっぱりうまい米は、コシヒカリでした。

炎天下 がんばったぞ！ 小・中生 各種大会から

夏休み中に行われた、小中学生の各種スポーツ大会の成績を紹介します。

炎暑のなか選手たちは、真剣なプレーを展開、特に岩中女子バレーボールが県大会に三位入賞を果すなど各分野で大活躍、学校など関係者はよろこんでいます。

少年野球大会

七月二十三日（日）　中学校グラウンド

村の小学校児童を対象にしたこの大会には七チームが参加して技をきそい合いました。

各チームとも、この大会にそなえて、指導者を中心に早くから練習にはげんだため、技も一段と上達してどの試合も伯仲した熱のこもった好ゲームの連続でした。

大事な時に失敗してしおれることもあったが、大人顔まけのファインプレーもあり観衆をうならせる場面も続々でした。

第3回 村民体育祭

スポーツの秋 こぞって参加を！

- ○**主催**　体育協会・公民館
- ○**期日**　十月八日・十日
- ○**場所**　村民体育館他
- ○**参加資格**　村内に在住、在勤する人
- ○**種目**　野球他（他の種目はチラシでお知らせします）

※野球の申し込みは、九月十四日まで公民館へ、抽せんは二十日に行います。

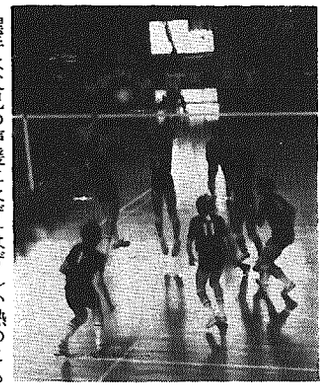
- ○**表彰**　各種目とも三位まで表彰し、参加者全員に参加賞を贈ります。
- ○細部については、後日、チラシを配布します。

西蒲原郡 小学校水泳大会

八月九日　吉田町営プール

この大会は、「郡内各小学校のすべての児童の泳力をもっと伸ばそう。」というねらいで、本年度から新たに企画された大会で、出来るだけ多くの児童を参加させるために、事前に各郷で、五、六年生を対象に郷の大会を開き、その大会で立派な成績をあげた児童を郡大会に参加させるといった方法をとりました。

従って、郡大会は選抜された優秀選手の競泳だけに各種目とも終始せり合いの


▲ 県大会第三位と活躍した岩中女子バレーボール部

選手は父兄の声援にはげまされ三十度を超す猛暑の中によく堪えて最後まで元気一ぱいたたかい抜いて、それぞれよい成績をあげたことは立派でした。

成績は次のとおり

一位　岩小Aチーム
二位　和小Aチーム
三位　間小チーム
〃　岩小Bチーム

はげしい熱のこもった大会でした。

その中で、私たちの村の児童も大いにハッスルして次のような立派な成績をおさめました。

5年女子　二位
50M（自由型）山上亜紀子
5年女子　四位
50M（自由型）大岩　雪子
5年女子　六位
100M（自由型）沖野　紀子
5年女子　六位
50M（平泳ぎ）幸村　誓香
6年女子　三位
200Mリレー　山上亜紀子　田村　洋子　大岩　雪子　沖野　紀子
6年男子　四位
50M（背泳ぎ）坂爪　君広

県大会で大活躍

～岩中～

- ○バレーボール（女子）県大会　三位
- ○ブラスバンド（A部）地区大会銀賞・県大会への出場権獲得
- ○相撲　県大会五位

公民館図書購入のお知らせ

お気軽に多数ご利用下さい

児童図書	一般図書	
イシダイしまごろう	再就職に成功する本	農村青年に訴える
こんや円盤がやってくる	韓国人の心理	甲子園への道
でんでんむしの競馬	沢村栄治	高校野球優勝物語
がんばれヘンリーくん	若き数学者のアメリカ	現代の非行問題
いやいやえん	戦いすんで日が暮れて	創価学会の野望
モグラ原っぱのなかまたち	私の日本私の西洋	日本の良識をダメにした朝日新聞
だれがいちばんわすれんぼ	神々の夕映	日本の伝統をダメにした茶
ちょう，あり，はち	ユーモア英語教室	華道の家元
しろいセーターのおとこのこ	再びなんで英語やるの？	満点ママ・減点ママ
ふらいぱんじいさん	果樹のせん定	6才までにのばす
三日ぼうずのちいちゃん	田植機稲作の育苗法	天声人語
さとるのじてんしゃ	かたくてやわらかい頭	四百字のデッサン
かわいそうなぞう	ふたりの余白	海外旅行用心集
とうげのおおかみ	くらしの中の魚	道は開ける
もっくりやまのごろつきぎつね	金田一耕助さんあなたの推理は	克己
ただいま70ぱ	ちょっといい話	夫と妻のための老年学
すっとびこぞうとふしぎなくに	落ちこぼれっ子教育法	この子らに光を
	田植機稲作の安定技術	クルマの選び方

一般図書	
ことわざの基礎知識	
ことわざ「名言事典」	
どくとるマンボウ昆虫記	
恋歌	
むごく静かに殺せ	
悪しき星座	
岸辺のアルバム	
海の見える芝生で	
アメリカの女たち	
カラー花の寺	
鉄筋の畜舎	
高層の死角	
カリスマの宴	
アラスカ物語	
富士山頂	
三婆	
鬼怒川	
和宮様御留	
裁きの家	